



月ヶ瀬公民館だより

公益財団法人奈良市生涯学習財団
月ヶ瀬公民館
奈良市月ヶ瀬尾山 2815
電話・FAX:0743-92-0346
発行人:館長 藤田美佳

寒露

日中は夏日の気温ですが、朝晩はこの時季らしい気候となり、寒暖差のある頃となりました。気温が下がってくると、魅力的なのは秋の味覚です。今年も月ヶ瀬の山栗で渋皮煮を作りました。実り・恵みのおすそわけに感謝し、自然の豊かさへの敬意に満たされる時季です。おいしく、ありがたく、にっこり過ごす秋です。

さて、味わいといえば、月ヶ瀬文化祭のバザーについて紹介します。新型コロナウイルス感染症の影響で、バザーは休止していたため令和元年以来の出店となります。お楽しみに!

メニュー

JAならけん女性部:大和茶ペットボトル、月ヶ瀬みらい:窯焼きピザ・唐揚げ串・フライドポテト、はぐらぶ:炊き込みご飯・さつまいもアイス、ロマンピア月ヶ瀬:うどん、たい焼き(出店者 50音順)

舞台発表は、伝統芸能の尾山万歳や桃香野狂言をはじめ、地域のみなさんの出演が午前・午後と続きます。作品展示は、月ヶ瀬小中学校の児童・生徒の作品をはじめ、団体・個人、自主グループのみなさんの生涯学習の成果をご覧いただけます。詳細は、月ヶ瀬文化祭のチラシをご覧ください。



梅の里学級・10月9日

◆こんな講座がありました!◆

奈良の文化に触れる学習として、奈良民俗文化研究所 代表の鹿谷勲さんに「茶粥・茶飯・奈良茶碗~全国に伝播した「奈良茶」の秘密」について ご講演いただきました。

江戸で流行し、全国に広がった奈良の茶粥、茶飯についてのお話は、国宝などの著名な奈良の文化財だけでなく、庶民の日常の暮らしの中にある文化の豊かさを知る機会となりました。民俗文化ならではの魅力に親しみを感じられました。(※毎日新聞に連載中の「やまと 民俗への招待」、奈良新聞に連載中の「新 なら 民俗通信」を頂きましたので、関心のある方はロビーをご覧ください。)

長引の和布祭(めまつり)など月ヶ瀬の文化についても触れながら、写真をふんだんに活用した解説は、わかりやすく、「難しい内容に思いましたが、よかったです」、「全く知らないことだったので、おもしろかった」、「地域に伝わる食について勉強できてよかったです」、「改めて茶粥と茶飯を学ばせていただきました」との感想がありました。

講師の鹿谷さんから、2021年に出版した著書を頂きましたので、図書室に配架します。



月ヶ瀬女性学級 10月12日

今回のテーマは「アロマでハンドケア」です。手を丁寧にケアすると肌の新陳代謝を助け、皮膚に潤いが生まれること、また血行が促進されるため、身体が温まり、筋肉の緊張がゆるむ効果が期待できるそうです。認知症予防として活用されるローズマリーや、緊張を和らげるラベンダーなど4種の精油(エッセンシャルオイル)の特徴を学び、気に入った2種選んで、無香料・無添加の保湿クリームにアルガンオイルと共に混ぜてハンドクリームを作り、セルフハンドケアをしました。



いっしょに遊ぼう 10月17日

拍子木が打たれて、始まり始まり~月大仏さんやお地蔵さんを題材とした 奈良の郷土色豊かな紙芝居を楽しみました。

紙芝居作家さんが持ってきてくださった畳 2畳分ほどの大きな龍の絵に子どもたちはビックリ! 最後は絵の前で撮影会になりました。



□■□ 講座の案内 □■□


梅の里学級 第4回 令和6年11月13日(水)午後1時30分~午後3時 テーマ:いきいき美容法

1. 楽器ライアーとクリスタルボールによるリラックス音楽の演奏
2. お肌のお手入れ法とワンポイント・メイクアップ・アドバイス(女性)、眉毛のお手入れアドバイス(男性)

※第5回 令和6年12月4日(水)午後1時30分~午後3時は、昭和歌謡を中心としたコンサートです。懐かしい歌謡曲と一緒に口ずさみながら、楽しみましょう。事前の申し込みは不要です。どなたでも参加できます。

女性学級 ※第4,5回の日程が変更になっていますので、ご注意ください。

第4回 令和6年11月16日(土)午前9時30分~午前11時 旅するひととき~ちょっと異文化体験(1)
韓国編:今年アジア人女性初のノーベル文学賞を受賞したハンガン(韓江)さんの作品や、近年話題の女性文学、近現代の歴史・社会に関わる映画、音楽などのポップカルチャーについて紹介します。

第5回 令和6年12月21日(土)午前9時30分~午前11時 旅するひととき~ちょっと異文化体験(2)
ベルギー編:ベルギーワッフルと月ヶ瀬茶、講座をふりかえる茶話会 

あき! おはなし会 令和6年10月23日(水)午後2時45分~午後3時45分

クリスマス!おはなし会 令和6年12月18日(水)午後2時45分~午後3時45分



事前の申し込みは不要です。当日直接お越しください。



図書館だより



図書館 夜間開室日:10月31日(木)、11月1日(金)、22日(金)

第166回直木賞受賞作 今村翔吾『塞王の楯』(図書館蔵)をきっかけに、移動図書館で、同作家の『じんかん』を借りました。いずれも500頁を超える大作です。小説の舞台が月ヶ瀬の近隣の地域であることもあり、近くを通る際には、当時の光景に思いを馳せます。秋の夜長の季節となりました。読書の秋を楽しんでみてはいかがでしょうか?

【予告】12月からは、月ヶ瀬公民館とローカルコープ大和高原の共催で、公民館図書館とONOONOを会場に夜間の読書会(夜の図書館・気になる本を見つけよう!)を開催します。①12月13日:月ヶ瀬公民館、②1月10日:ONOONO、③2月7日:月ヶ瀬公民館、④3月7日:ONOONO いずれも金曜日19時~20時30分です。

移動図書館

次回は11月15日(金)

今後の予定:12月13日、
1月17日、3月14日 ※2月休み
各回とも 14:50~15:30

- ★1か月、1人10冊まで借りられます。
- ★市立図書館蔵書のリクエストもできます。
- ★インターネットで予約して、移動図書館で受け取れます。

◆貸出券の作り方



月ヶ瀬俳句会【九月】
秋冷を待ちわびし日々まだ続く利明
秋夕焼ソーラーパネル一日終へ豊美
瀬をのぼる薄き光の秋螢ちず子
月替はる八月なんだか長かつたかつ野
初秋刀魚七輪の香のなつかしく繁夫
地下足袋に蝸螂ひとつ這いあがり新哉
名月に飛行機雲の橋かけてふみ子
音のなき里に名月光置く定代
捨て鉢の露草凍と青こぼし知里
肩車両手に余しぶどう狩り和代
遠雷と海に降る雨攻めて来る白鯨
大琵琶のさざ波揺るる月あかり節子
二期の決意きりりと髪結ぶ由姫子
龍神の輝く水面秋香る卓
白服の手旗信号発艦す旅人
敗者なる球児の詰める熱砂かなすま
溢れ出る思ひの丈を蟲嘶の鳴くますみ



奈良市生涯学習財団 <https://manabunara.jp/>

公民館だよりバックナンバー(既刊) 施設紹介→月ヶ瀬公民館→公民館だより

